

✧ ミライ輝く 夢語り ✧ 会議録（要旨）

1 開会

【総合司会：古池】

ただいまより、市長を迎え今井地区ジモトで座談会“ミライ輝く夢語り”を開催いたします。私は進行を務めます、今井未来会議メンバーの古池です。

それでは、本日の主催者であり、今井未来会議の発起人の一人である桃井（今井開発・空港対策委員長）よりご挨拶を申し上げます。

2-(1) あいさつ

【今井未来会議代表：桃井】

本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。今回の座談会は、数年に一度巡ってくる松本市の「ジモトで座談会」に合わせて開催いたしました。私はこの今井で 71 年暮らしてきましたが、この素晴らしい地域を「このままにしているのか」という思いを抱いてきました。

役職が変わるたびに議論が途切れ、多くの団体があっても未来を共に語る場が少なかったのが現実です。そこで昨年、連合町会長とともに「未来会議」を立ち上げました。これは 10 年、20 年後の今井を自分たちの手で創るという決意の場です。

本日の妄想会議は「無理」や「できない」ではなく「どうすれば面白くなるか」といった思いを自由に語っていただきたい。皆さんの声が今井の未来を動かす力になると信じています。

【総合司会：古池】

続いて、臥雲市長からご挨拶をいただきます。市長には応答者として発言いただくとともに、最後に本日の総括をお願いいたします。

2-(2) あいさつ

【臥雲市長】

こんばんは。私が 2 期目に入ってから、月に 1 回、市内 35 地区を回って座談会を行っています。今月は先週笹賀地区でも開催しました。笹賀では PTA 改革や地域のデジタル化の取り組みを伺い、若い世代の前向きな動きに触れました。

本日、今井地区では「妄想を聞きに来る」という大変興味深い話を伺い、これは面白そうだとやって参りました。世代の幅が広く、女性参加も多い今井の妄想会議、どんな話が聞けるか楽しみです。皆さんに乗り遅れないようしっかり参加させていただきます。

【総合司会：古池】

それでは会議を始めます。本会議は趣向を変え、一定の運営ルールを設けています。今井地区がより輝き住みやすくなるための夢やアイデアを、プレゼンターである妄想者が順に発表し、市長ほか応答者が感想を述べ、全体で共有する方式です。

会議参加者の紹介は時間の関係で割愛しますが、配布した会場配置図と参加者一覧でご確認ください。妄想会議が終わった後に、見学者の皆様も含めて本日の印象を伺う機

会を設けます。それでは、ここからは未来会議メンバーの〇〇さん（司会1）と〇〇さん（司会2）が進行します。

3 ルール説明

【司会2】

ここからは今井妄想会議チームが継がせていただきます。私たちは司会の〇〇と〇〇です。よろしくお願いいたします。

妄想会議は、参加者が自由にアイデアを出し合い、地域や未来の活性化につながる妄想を語り合う場です。あまり聞き馴染みがないかもしれませんが、実は2020年頃から日本各地で行われており、共感による仲間づくり、地域プロジェクトの創出、地域の魅力向上を目的としています。

私たち未来妄想会議は、今まで2、3回妄想会議を行っており、次のルールを大切にしています。

- 1、妄想は無責任で良く、実現性は問わない。
- 2、すべての妄想を否定しない。
- 3、他人の妄想に乗っかって、どんどん妄想を爆発させよう、です。

今回は、この場に臥雲市長をお招きし、さらに今井の様々な場で活躍していらっしゃる9名の皆さん、そして、先日、鉢盛中学校を卒業し、4月からは今井を出て、それぞれ別の高校へ進学する未来輝く4名の皆さんを加えて妄想会議を開くこととしました。さらに、ギャラリーの皆さんもいらっしゃるということで、少し趣向を凝らしました。それが妄想者に対する応答者ということで、まず妄想者は、与えられた10分間の妄想タイムで自己紹介と自身の妄想発表、その後6名のチームでさらに妄想談義を深め、応答タイムに移ります。

応答者には「実現したい」、「乗っかりたい」、「ナイス妄想」、「妄想200%」の4枚の札と、発言したいときは手マークも挙げていただき、ご発言を頂きます。応答タイムは5分間です。バラエティ番組のような感覚で楽しく反応していただけると幸いです。

さて、だいたいお分かりいただけたでしょうか。ちょっとまだピンとこないかなと思うので、実際に私がデモンストレーションとして一つ妄想を発表させていただきます。

4 妄想会議

【★ 妄想発表（デモンストレーション）★ / 妄想者：司会2】

〇〇と申します。出身は香川県、西耕地に在住で果樹農家です。脱サラしてUターンした夫と共に就農し12年目を迎えました。座右の銘は「過去と他人は変えられない。変えられるのは自分と未来だけ。」です。

本日は、農業に関する妄想をご紹介します。今日はリンゴの剪定と誘引作業を行ってきましたが、作業はなかなか終わりません。農業は地味で単純に見える作業が多いですが、知識が不足すると効率が落ちます。たとえば、剪定時に「太い枝を切った方がいいのか」とか、「花芽が少ないけど残すべきなのか」とか、悩むことが大変多いです。そこで、もしドラえもんの秘密道具のメガネがあれば、枝の状態を一目で判断できると思いました。「この枝は花芽が少ないからいらぬよ」とか、「ちょっとここは空間を開けた方がいいよ」とか、「この枝はきっと育つから置いとこうね」とか、こうした情報が可視

化できれば、パートさんや日雇いのバイトさん、ちょっと遊びに来た友達でも簡単に作業ができるはずです。摘果作業も一緒に、メガネをかければ適正な果实数とか残す実が分かれば、楽しいんじゃないかなと思います。

農業のスマート化が進めば、パワースーツの活用も期待できます。重いものを持つのが苦手だったり、ハサミの使用でバネ指になりかけた私にとって、アシスト機能は大きな助けです。これにより、お年寄りの負担が減って、孫や子どもと一緒に作業を楽しめればと思います。

以上が私の妄想です。ご理解いただけましたでしょうか。では、音が鳴ったら「どうぞ」と私が言いますので、応答者の皆さまに札上げをお願いします。どうぞ。

<効果音>
<応答者：札上げ>

すごいです！これは是非とも実現したいですね。でも誰も意見はないようです。意見があったら当てていききたいなと思っていたんですけど。ありがとうございました。皆さん、概ねご理解いただけただけでしょうか。では、そろそろ次へ進みましょう。

【司会1】

はい。では妄想会議のスタートです。まずは1人目のCさん、お願いします。

【★ 妄想発表（その1）★／妄想者：C】

はい、緊張していますがよろしくをお願いします。Cです。出身は東京都、中沢に住んでいます。今井の好きなところは、新規就農者を温かく受け入れてくれる大らかさです。

私の妄想は、「農業を憧れの職業にしたい」というものです。子どもたちが将来「農業」を自然に選べるよう、地域全体でプラスの働きかけを増やしたいと思っています。どんな職業も格好いいとか、すごいとか、面白い、稼げそうとか、そういうプラスのイメージから憧れていくものなのに、農業はどうもマイナスの要素が表に出やすいし、ちょっとネガティブな先入観が世の中にあると思うんですね。それで、カッコいい農機具やスマートグラス、AI、ロボットなど、先端技術と結びつけて魅力的に見せる体験会やワークショップを開催できればと思います。そんな体験会があったら、男の子がトラクターに乗って自然と憧れるということにもなるかと思います。また、今井で成功しているスター的な農家にインタビューして、苦労ではなく工夫や成功の秘訣を語ってもらい、課題解決のワークショップイベントなどがあったらいいなと思います。

子どもたちが農業の入口に立つとき、苦労話やマイナスイメージは不要です。たとえば、鉢盛中学の摘果体験は、収穫から販売までチームで行って、ポップの作成や売上を競うなど、楽しい要素を加えても良いのではと思います。現在、保育園から小学校までは野菜栽培や青年部がシール貼り（リンゴへ）体験に協力して、子どもたちに農業の楽しさを伝えていると感じます。しかし、中学に入ると摘果体験の感想は「暑くて大変だった」とか苦労が強調されがちです。そこで、作業の楽しい面に焦点を当て、もっと「カッコいい」と感じさせる仕組みを増やすことで、農業へのポジティブなイメージを自然に育ててほしいと思います。

将来的に、子どもたちが「農家になりたい」と答える人数が一定数以上になることが目標です。これが実現すれば、私たち農家にとって大変嬉しいことです。以上が私の妄

想です。

【司会 1】

ありがとうございました。聞いていてとてもワクワクしました。続いて、Aさんはいかがですか。

【妄想チーム：A】

はい、ワクワクしています。私の子どもは現在小学4年生で、3年生のときに1年かけてリンゴ栽培を体験しました。担任の先生が道の駅と連携して、子どもが自らデザインしたイラストやポップでスイーツ、ジャム、ジュースを作るなど、様々な企画を実施してくれました。とても楽しい体験でしたが、4年生になるとその取組みがなくなったので、上級生や中学校になっても楽しい農業と関わる機会があればもっといいなと思います。

また、カッコいい農業で思い浮かんだのが、最近テレビなんかで見たドローンを使った農業に興味があります。薬剤や種子を散布するドローンは果樹へ導入するのが難しいかもしれませんが、もし実現すれば中学生の関心を引きつけられると思います。

【司会 1】

ありがとうございます。引き続き、司会2さんどうぞ。

【司会 2】

ドローンについてですが、安曇野では1台150万円のドローンが、30kgの農薬を搭載して自動散布し、残量がなくなると自動で帰還して充電・補給を行います。それがどうも果樹の棚の下でも通過できるんじゃないかといった話を聞いたので、今度今井にも呼んでみたいなと思っています。

【司会 1】

未来は明るいですね。Dさんはどうですか。

【妄想チーム：D】

私は農業に直接関わったことはありませんが、子どもたちに農業体験を通じて「素晴らしい職業」と認識してもらいたいです。

【妄想者：C】

ここで言いたいのは、大変さは分かってくれなくていいんです。むしろ“楽しい”という側面に焦点を当てることです。摘果作業だけを体験した子どもがリンゴ栽培全体の楽しさを実感できるかは難しいかもしれません。警察官や医師と同様に、農業の“危険な側面”まで考えさせる必要はありません。楽しい部分だけを強調した体験を提供するのが私の妄想です。

【司会 1】

ありがとうございました。では、時間となりましたので、今から応答者の方に札を挙げていただきます。4種類ありましたけれども、どれをあげるかお決まりですか。それでは、応答者の方、シンキングタイム。

<効果音>
<応答者：札上げ>

【司会1】

はい、ありがとうございます。

今、手を挙げていただいた方の中から、意見してもらいたいと思うんですが、なんと中学生、今日卒業したP君、中学の摘果の話も出たのでご意見あったらお願いします。

【中学生：P】

Pです。出身は公園西で、今井地区の優しさが好きです。中学2・3年生のときに摘果体験をしたことがあります。作業の大変さや農家の方々の努力を感じました。でも大変な部分しかわからないので、もっと多くの中学生が様々な工程を体験できる機会が欲しいです。

【司会1】

体験の感想、ありがとうございます。やっぱり流れを通していろいろと経験すると、もっと楽しくなるんじゃないかなって思うんですね。卒業した中学生からの意見でした。次に、先ほど手を挙げていただいたEさんお願いします。

【応答者：E】

Eです。農業と道の駅の役員を兼務しています。人手不足の解消には、すぐに熟練者になってもらえるような技術支援が必要です。以前、山梨県で導入されたぶどうの大粒種の巨峰とかシャインマスカットの摘粒で、眼鏡型デバイスがこれは取っていい、これは残せて、判断するシステムが紹介されたことがありました。リンゴや桃、梨にも応用できれば嬉しいです。農業の“大変さ”ではなく、“儲け方”や“工夫”を体験すると農業が楽しくなると思います。

【司会1】

ありがとうございました。続いて市長、お願いします。

【応答者：市長】

農業を憧れの職業にしたいという思いは、まさに花丸です。松本のシンカ YouTube チャンネルに1万人近い登録者がいますので、ぜひここでスター農業者を今井の中から推薦していただき、紹介したいと思います。

【司会1】

ありがとうございます。スタート農業者？ってちょっと。

【司会2】

いるよ。そこに。2人。<笑い>

【司会1】

ここにスター農業者が2人、出ているそうです。はい、頑張ってください。というこ

とで、1人目のCさんの妄想、「農業を憧れの職業に」を終わります。ありがとうございました。では2人目の妄想者の方、Dさん、よろしくお願いします。

【★ 妄想発表（その2）★／妄想者：D】

Dです。出身は埼玉県で、野口に住んでいます。今井の好きなところは果樹園の風景です。果物がある場所が好きで、初めてこちらに来たとき、満開の果樹の花に感動したことが今でも忘れられません。

私の妄想に入ります。私が住む今井地区は農業が盛んで、広大な畑がたくさんあります。地区外の方からは「商業施設がなく、のどかな地域」とよく言われます。最寄りの広丘駅からは少し離れており、駅へは自転車、バス、もしくは自家用車で向かいます。私は高校生と中学生の子どもが二人いますが、高校生は電車で通学しています。勾配のある道なので、季節によっては自転車通学がかなり厳しいことがあります。バスは時折利用しますが、時間帯によっては混み合い、便数が少ないために時間が合わないこともあります。また親も仕事の都合で送迎が難しいことがあり、そこで「鉢盛中学校に高等部を作ってはどうだろうか」と私の妄想が始まりました。

山形村、朝日村、今井はいずれも駅から遠く、送迎をメインにしている家庭が多いと考えられます。鉢盛中学校は地域と連携した活動が盛んで、子どもたちが主体となってイベントや体験学習を通じ様々なことを学んでいます。鉢盛中高等部には進学だけでなく、農業科・商業科・食物科といった専門科を設け、地元の企業や農業へ就職できる道をつくれれば、人材不足の解消や後継者の育成につながり、地域が発展し、活性化していくのではないかと思います。自然に恵まれた穏やかな環境で、伸び伸びと学べる場は本当に魅力的です。以上、私の妄想です。ありがとうございました。

【司会1】

ありがとうございました。今、涙が出そうです。とても感動しました。では、Dさんの妄想について、Bさん、いかがでしょうか。

【妄想チーム：B】

面白い発想だと思います。私は今年度から中学生向けに蕎麦打ちを教える部活同を始めていますが、もし鉢盛高校ができれば、そこに蕎麦部を作って、蕎麦甲子園に部員を出してやりたいなんて考えてしまいます。こっちも妄想100%です。

【司会1】

蕎麦甲子園に出たいですね。あちこちで出ていますし、志学館高校も出ましたよね。蕎麦部についてどう思いますか。Aさん。

【妄想チーム：A】

本当に、うちの子が一番近い学校に行くみたいなタイプなので、多分、鉢盛高校ができれば真っ先に志望校になるかなと思います。交通の不便さは今井に住む人にとって大きな課題ですから、すごくいい妄想だなと思いました。

【司会1】

先ほどのCさんの妄想とつながるように感じました。普通科だけでなく、さまざまな

科が充実すれば、発展していく余地がたくさんあるような気がします。

【妄想者：D】

進学だけにとどまらず、地域の特色を高校教育に取り入れて、子どもたちが好きなように学べる環境ができたらいいなと思って妄想してみました。

【司会2】

高校はハードルが高いですが、現在学校に通えていない子どもたちもいます。フリースクール的な場を設け、中学生や高校生、さらには大人も集めて、農業や木工などの体験ができれば地域にとって有益だと思います。

【司会1】

交通の不便さは確かに問題です。広丘駅までのアクセスが大変なので、近くに高校があれば親の送迎負担も軽減されますね。

【妄想チーム：C】

私も乗っかりたいです。義務教育ではなく高校になると、社会人向けの講座やワークショップの開催など、農業系科目ともかっこよく連携できると思います。

【司会1】

男の子たちがトラクターや耕運機をどんどん運転できる場があればいいと思うんですよね。何歳から運転できるか、免許は必要か、といった点も検討したいですね。では、Dさんの「あったらいいな鉢盛中高等部」この妄想について応答者の皆さん、札の方はよろしいですか。シンキングタイムです。

<効果音>

<応答者：札上げ>

【司会1】

手のマークを上げていただいた方が市長です。市長、お願いします。

【応答者：市長】

はい、乗っかりたいと思いました。県立高校の現状を見ると、従来の学校形態が合わなくなってきています。普通科だけでなく、農業を含む職業科の充実が求められます。職業科の形態もなんとなくちょっと違うようになって感じるころがあって、やっぱりこの学校って、今まで思っていた学校じゃなくていいんじゃないかなって、大勢の人たちが感じ始めています。特にこの農業を憧れの職業にしたい、憧れの職業になる農業を学ぶ学校っていうものができたら、これは松本のすごく特色になる可能性があると思います。法律上の敷地要件など課題はありますが、フリースクール的な実践の場を設け、卒業後も農業を志す人材を育てられるんじゃないかなと思います。資金面の課題はありますが、ぜひ私もこのプランに乗っかりたいです。

【司会1】

ありがとうございました。なんか本当に実現できる、意外と妄想でもなくていけるん

じゃないでしょうか。どうでしょうか。

【妄想者：D】

本当に妄想 200%ぐらいですけど、すごく感激しています。ありがとうございます。

【司会 2】

農業に偏っていますけど、農業以外の分野はありますか？お願いします。

【応答者：J】

今井小学校の PTA 役員、建設業を営む J です。職人不足に悩む私たちの業界でも、子どもたちに早い段階で職業への憧れを持ってもらうことが重要です。鉢盛高校に農業だけでなく、木工や大工などの技能科を設ければすごく夢があって、地元の農業・建設業の人材育成に大きく貢献できると思います。さっき私“ナイス妄想”だったんですが、今は是非“乗っかりたい”です。

【司会 1】

技能科はいいですね。すごく。どうですか、中学生。何か言ってもいいよっていう人、コメントしてもらえますか。

【中学生：M】

今井出身の M です。今井の魅力は挨拶をすれば必ず返ってくるところです。それで、技能とか農業とかまとめて総合科を作ってみたらいいのかなと思いました。この辺で総合科は塩尻志学館高校にしかなくて、私たちの未来の職業を総合的に学べることはいいことなので、そんな面からも総合科という形を表に出すのはいいのかなと思います。

【司会 1】

そうですね。総合科は志学館の強みですから、鉢盛高校に取り入れれば広がり期待できます。ありがとうございました。

意外と広がりました。どんどん広がりました。はい。応答者の方で他に話してもいいよって方はいらっしゃいますか。

【応答者：H】

育成会役員の H です。上新田出身ですが、これまで長らく県外で仕事をしておりまして、地元に戻ってきて 5 年目になります。いろんな地域と比べて、やはり今井は安心できるところだなと感じています。今の話ですけど、せっかく高校を作るなら、専門学校や大学とか。

【司会 1】

続きましたね。

【応答者：H】

そこまで視野に入れたらいいんじゃないかなとちょっと思いました。

そもそも D さんが話し始めた時に、交通事情を何とかしてくれとおっしゃるのかと思ったら、学校を作れと、その手があったか、そうきたかと、そういう発想自体が素晴ら

しいと思うんです。そういった考えで物事を進めていけば、きっとうまくいくのではないかと思います。頑張ってください。

【司会1】

ありがとうございました。話がどんどん膨らみ、Dさんの妄想は本当に素晴らしい妄想だったと思います。

【妄想者：D】

とても嬉しいです。

【司会1】

まさか大学まで話が進んでいくとは思わなかったのでびっくりしましたが、ありがとうございました。

時間となりますので、次の発表者、Aさん、よろしくお願いします。

【★ 妄想発表（その3）★ / 妄想者：A】

はい、Aです。出身は上田市、現在は東耕地に住んでいます。今井の好きなどころは、地域全体で子どもたちを育てようとする雰囲気、皆さんがとても温かく、住みやすいです。座右の銘は「人は想像できることはすべて実現できる」です。なので、「いつかあの“どこでもドア”も作れるかもしれない」と思っています。

私の妄想ですが、「今井に地域密着型のジムが欲しい」です。運動不足でジムに通いたいと思ったとき、今井からだとどうしても片道、車で2～30分かかり、1時間運動して、また2、30分かけて戻ってくるのはどうなんだろうと思っています。そもそも今井にジムがあればいいのにと考えたのがこの妄想の始まりです。

具体的には、子どもから高齢者まで気軽に利用できる施設があればいいと思います。たとえば、中学生の部活動が地域移行でなくなるということですが、何かしたいという子どもが家から送迎の必要なしで通えることが重要で、子ども向けのスポーツ施設や教室が今井にはなかなかありません。また、女性向けにもヨガやピラティス、整体など日替わり体験できるイベントがあって、さらにお風呂やサウナが付いていて、プールもあれば言うことないなと……。

お年寄りにとっても、県内で今井地区の健康寿命が長いぞって評判になれば、施設が一つの特色になるのかなと思います。そのために、病院やクリニックと連携し、健康診断やその人に合わせたアドバイスをもらえたら良いと思います。また、子どもの体操教室や新米ママ向けの骨盤ケア、親子筋トレ教室などを設ければ、外部からの移住者誘致にもつながります。

ジムは単なる運動施設にとどまらず、コミュニティの拠点としてもいい場所になると思います。利用者同士が企画するイベントや運動後のお茶会、飲み会など開催できれば、施設の意義がさらに広がると思います。

【司会1】

いや、わくわく、ぞくぞくしました。今井の健康寿命が高くなる理由に、こうした施設が関わってくると面白いですね。

【妄想チーム：C】

農家は冬場、運動不足になりがちですし、お父さんたちは飲み会も多いので、体を動かせる場所が欲しいです。何ならこの場所に並んでいてもいいのかと。

【司会1】

ここに？

【妄想チーム：C】

マシーンが。

【司会1】

なるほど。なるほど。

【妄想チーム：C】

2年前の検診の時、筋力測定ができる健診車がやってきてアドバイスをもらえたのがとても良かったです。今年はなかったのが残念でした。私は、上半身はよく使いますが下半身は動かさないで、ジムに測定機器があれば自分で工夫できてすごくやりたいなと思いました。

【司会1】

そうですね。先ほどヨガやピラティスの話もありましたが、女性の体型維持や産後の体重管理にも役立ちますね。Bさん、どう思いますか？

【妄想チーム：B】

私も体力勝負の仕事をしていますが、農家は「体を動かしているから大丈夫」と考えがちです。聞いた話では、運動はそういうものではなくて、実は仕事で体を使うことと、意識的に運動することは全く別だそうです。日々疲れて運動が後回しになることがありますが、体をケアできる場所があればとても助かります。

【司会1】

特に子どもからお年寄りまで、誰でも気軽に集まれる地域コミュニティの拠点になるっていうところがいいですね。

【司会2】

さらにこれを発展的に考えたら、みんなで何か一つ大きな運動できるようなイベントがあったらいいなと思ったりします。

【妄想者：A】

いいですか。今はもうないですが、私がここに住む前に地域で運動会があったと聞きました。今、小学校の運動会がとにかく寂しくなってしまう、競うことが一つもないんですね。去年までは綱引きがあったと思いますが、それも無くなって単なる体操や体育参観みたいな感じです。もっと子どもたちが本気で競える機会があったらいいなと思います。季節のイベントの一つとして、みんなで運動会とか大人も本気のリレーとか。

【司会 1】

本気ってところが大事だよな。

【妄想者：A】

本気が大事。

【司会 1】

今、点数つけないとか、勝ち負けをつけないとか、そういう運動会の流れですが、実際、世間や社会に出てから勝ち負けって絶対あると思います。頑張ったから勝ったとか、一生懸命やってチームで優勝したねとか、そういう思いはやっぱり大事だという気がします。Dさん、どうですか？

【妄想チーム：D】

そうですね。勝ち負ってやっぱり面白いじゃないですか。盛り上がりますし、目標に向かって頑張ることにもつながります。

【司会 1】

昔、今井地区でやっていた運動会がなくなって、「スポーツ健康フェスティバル」に内容が変わったと思うんですけど。どうですか。出たことはありますか。

【司会 2】

初めは、体重測定や健康イベントが中心でしたが、最近は参加者を4つのチームに分けて競技の要素も取り入れて、それでいいと思うんですよ。町会の役員が年代別に参加者を集められなくなって運動会は止めようとなりましたが、今は集まった人たちでチーム分けしようってことになりました。

中学生だって小学校の時にもっと騎馬戦をやりたかったよね。あっという間に無くちやって……。これからは、みんなで怪我をしないようにやりたいです。

【司会 1】

騎馬戦は楽しかったですか。

話しはどんどん進んでいきましたが、以上でAさんの妄想「今井に地域密着型のジムが欲しい」についての話は終了です。それでは応答者の皆さん、パネル表示をお願いします。準備はよろしいですか。シンキングタイム。

<効果音>

<応答者：札上げ>

【司会 1】

ありがとうございます。皆さんからコメントをお願いしたいと思いますが、Gさん、お願いします。

【応答者：G】

堂村在住のGです。地方紙ライターのほか運動指導の仕事もやっています。先ほど農家は体を動かしているから大丈夫という話がありましたが、同じ姿勢を長く続けている

と、逆にかなり負担がかかります。また運動後に有酸素運動とかストレッチをしないと体には良くないと話しています。やはり、気軽に行けるジムがあれば、姿勢を改善したり、体のバランスを整えられてすごくいいと思います。子どもたちにも、近くで多様なスポーツに触れられる場所が欲しいです。

【司会 1】

お隣のFさん、お願いします。

【応答者：F】

南耕地のFです。私、タバコを止めまして。2年経って8kg太ったんです。それで、この辺りを仕事が遅いので夜9時ごろなんですが、アプリで管理してずっと歩いています。その後、11月に熊騒動が起きて歩けなくなって、それからさぼってしまっているんですが。そんなこともありましたし、やっぱり私は飲み会が大好きで、農家の方とか地域の皆さんと話すのがすごく好きなので、そういう場所ができたらいいなと思います。

あと、一つ私の妄想があって、農家の人に言えば悪いんですけど、今井にゴルフ場があったらいいなと思っています。<笑い>

【司会 1】

妄想まで語っていただいてありがとうございます。<笑い>

じゃあ、市長に手を挙げていただいたんですが、お時間の関係ですみません。次、Iさんお願いします。<笑い>

【応答者：I】

生まれも育ちもずっと今井にいます、南耕地のIです。福祉ひろばコーディネーターをしていますが、Aさんの妄想を聞いていて、子どもから高齢者まで居られる場所というところ、つまり福祉ひろばを使ってほしいと思ったんですが、お風呂もサウナも欲しいと言われた瞬間、ちょっと無理だなと思ってしまいました。今井は空き家が増えており、前回の市長懇談会でも話題になったと記憶していますが、空き家をリノベーションしてジムや温浴施設に活用できたらいいなと思いました。

運動会については、子どもの頃から大好きで、朝5時に起きて場所取りに行かされる時代だったので、無くなったのはすごいショックでした。小学校の運動会に行っても、去年は競争で1等・2等とか、赤白の勝敗もない。なんかちょっと寂しいなと思っています。

【司会 1】

ありがとうございます。ちょっと私、今のところで乗っかりたい話がいっぱいあるんですが。時間の関係でまた個人的にということで……。

では、Kさん、お願いします。

【応答者：K】

下新田のKです。農業を営んでいます。今年、市の健康診断を受けたら結果が厳しいことになっていたのも、現実的に近くにジムがあると通えるのでいいなと思いました。

【司会 1】

ありがとうございます。すごいです。ジム一つでこんなに意見が広がるとはびっくりです。この話もまたどんどん妄想が広がっていきますね。では、次の妄想はBさんです。お願いします。

【★ 妄想発表（その4）★ / 妄想者：B】

よろしくお願いします。Bです。今井出身で現在は道の駅で調理員をしています。今井の好きなところは、田舎で広々していて、のんびりできる点です。好きな言葉は「継続は力なり」です。

私の妄想は「下今井太鼓連のお囃子でみんなで踊りたい」です。若い頃から下今井太鼓連をやっておりますが、諏訪神社の祭り青年から太鼓連ができて、たぶん40年くらい経つと思います。笛が入ったお囃子の曲で「道中囃子」という曲があるんですが、今井ではなかなか演奏されたことがない曲だと思います。今までに飴市や信州博のイベントで演奏されたという話を聞いたくらいで、篠笛の音が高く安定して音を出しづらく、練習にもとっつきにくいので、寒い時期にこたつに入りながらほんの少しだけ練習して終わってしまう感じの曲でした。

でも今シーズンは「道中囃子」を復活させようと、冬もみんなで練習を続けていました。そんな時、テレビで“日本一速い”盆踊りを目にしました。岐阜県郡上市の白鳥踊りというものなのですが、お囃子の人たちが直に演奏する中で、踊り手の気分も乗ってきてテンポがだんだん速くなるんです。これは同じ演奏をするものとしてすごくよく気持ちがあわかって、勝手な想像ですが、気分が高まると演奏が速くなり、踊り手もそれに乗かってますますテンポが上がる、この循環が“日本一速い”踊りを生んだのかなと思います。

それで、YouTubeを見ると中高生とか若い子たちも一生懸命踊っていて、このような姿を見て私も「道中囃子」でみんな一緒に踊れるようになったらいいなと思いました。今井では夏のドンパン祭りでやぐらの上で踊るお母さんたちや、この会議の冒頭で“今井の父ちゃん”体操を披露した人たち、松本ぼんぼんに参加している方々など、踊り好きの人がたくさんいます。これら皆さんと協力して、みんなで踊れる振付けを考えられたらいいなと思いました。

理想は、富山県八尾の「おわら風の盆」のように手の動きが美しい古典的な振付けです。あと、沖縄の人たちが集まったときに三線を流してみんなで踊るようなイメージも持っています。こうした形で「道中囃子」が人々の心をつなぎ、地域が一つになる場ができればと妄想しています。以上です。

【司会1】

ありがとうございます。でも、小学生は6年の兼平太鼓だし、下今井では太鼓に慣れ親しんできたのが今井の文化だと思いますが、いかがでしょうか。

【妄想チーム：C】

地域みんなが一体になるってところがすごいと思います。さっき出たドンパン祭りでも「松本ぼんぼん」のときは、結構踊り手が増えるんですよ。だから今井のみんなが知っていて、みんなで自然に踊れるようなものができたらすごく楽しいんじゃないかなと思います。

【司会1】

先ほど“今井の父ちゃん”をみんなで踊りましたが、太鼓に合わせた特有の踊りになってくると、またそれも盛り上がっていくのかなという気がしますけど。

【妄想チーム：D】

私も松本ぼんぼんを踊らせてもらったことがあります。一体感が本当に好きで楽しくて。今井独特の踊りにのせる太鼓があったら絶対楽しいだろうなって思います。単純に私はそれすごくいいです。ぜひ実現してほしいです。

【司会1】

ぜひ進めていただきたいのですが、いかがですか。

【妄想チーム：A】

私も大賛成です。小学校では太鼓をやって、下今井では秋祭りで小3以上の男子が横笛を練習します。小学生と連携して一緒にできたらもっといいと思います。さっきの農業体験の話もそうですけど、経験したことが中学に引き継がれないということを感じていて、せっかく小学校で地域に密着していろいろな行事に参加しても、鉢盛中学に行った途端に地域との関わりが減って、今井の行事に参加しなくなってしまうのはすごくもったいない話だと思います。中学になっても引き続き地区の行事に参加できる、参加したくなるような何かがあれば、今井の愛着がさらに深まると思います。

【司会1】

中学では朝日村が、確か太鼓をやってましたよね。

【司会2】

中学のコミュニティスクールでは、地域の学習のときに朝日村の太鼓を体験する機会があって、3年生が太鼓グループになって白峰祭で発表するんだよね。今井にも兼平太鼓があるのに、この違いを何とかすればいいんじゃない。

【司会1】

せっかく6年生が短期間であれだけの太鼓をマスターするので、その経験を中学にもつなげ、さらに高校でもやりたい子は、それこそ先ほどの鉢盛中学高等部に太鼓部があればいいと思うんですけど。そういうつながり中で下今井に戻って太鼓をみんなで叩けるような文化ができてくるといいですね。地域がますます盛り上がる気がします。

それではお時間ですね。応答者の方でまだ発言のない方は、ぜひ手を挙げてください。シンキングタイムです。

<効果音>
<応答者：礼上げ>

【司会2】

黄色が出ない。

【司会1】

黄色が出ないということはどういうことでしょうか。妄想だけではないってこと？
では市長、先ほどは時間の関係で失礼しました。手を挙げていただいたのでよろしく
お願いします。

【応答者：市長】

はい、乗っかきたいってというのは、今、中学校部活の地域展開を考えていて、予算不足などで実現が難しいですが、今の話で地域として小学校に関わってきた人たちが、中学生になっても、今話題に出た太鼓とか踊りとかをやるクラブを作ってもらえたら、松本市全体の一つのモデルになるかなと思いました。

先ほど蕎麦打ちクラブという言葉が出ていましたけど、今まで中学校の先生が部活の指導をする場合、種目が大体決まっています、しかも生徒数の少ない学校だと種目自体も限られるんですが、今回の一番の狙いは、学校から中学生を解き放って、中学生が本当にやりたいもの、興味を持つスポーツとか文化活動とか、場合によっては探求とか、それを先生にもよりますが、地域の大人の人たちと一緒にやる時間を作ろうということなので、今のお話は一石二鳥でできるじゃないかなと思いました。以上です。

【司会1】

ありがとうございます。高校にも探求科ってありますが、そこに大人が加わっていくのは、大人自身も楽しめることなんじゃないかなと思いました。

中学生の意見はいかがですか？ 先ほどP君が手を挙げていましたが。

【中学生：P】

今井小学校で兼平太鼓、鉢盛中学校で朝日太鼓を経験しました。市長が言うように部活の地域移行は、中学生もそうだけど、大人の皆さんも新たに参加するきっかけなればと思います。

【司会1】

私も昔、本当は小学生の子どもと一緒に太鼓を叩きたかったんですよね。なかなかそのタイミングが無くて。一緒にできれば面白いですね。ありがとうございます。Nさんはどうですか。

【中学生：N】

さっき市長が言ったように部活が地域に移行すれば、大人やお年寄りの方も中学生とコミュニケーションが取れて、地域のつながりが深まると思います。

【司会1】

地域のつながりは本当に大事なと、つくづく実感するところがあります。はい。ありがとうございます。それでは、次の妄想に移ります。これが最後の妄想です。

【★ 妄想発表（その5）★／妄想者：司会1】

では、最後の妄想は私が話します。〇〇と申します。今井出身で、上新田で果樹農家をやっています。今井の好きなところは、やる気さえあればさまざまなことが実現できる地域である点です。私の大好きな言葉は「やらないで後悔するよりも、やって後悔す

る覚悟を持って」です。

私の妄想ですが、今井にラジオ局を作ることです。現在は、パソコンやスマートフォンが使いこなせて当たり前の時代で、情報はすべてそこに集まります。大人も子どももスマホ一つで情報が入手できますが、そんな時代だからこそ、皆さんのご家庭にラジオはありますか？意外と多いですね。結構大勢いらっしゃる。それで、周波数を合わせれば今井の情報がラジオから流れてくるような仕組みができないか妄想しています。特に農作業でラジオを聴く農家の方や、耳だけ開けていれば情報を得られるラジオ好きの主婦、早朝から目が覚めてしまってラジオを聴く高齢者の方など、さまざまな層に活用できると考えます。

インターネットラジオはすでに普及していますが、実際に放送するためのミニ FM 局は免許不要で開設できるものらしく、電波は弱いものの限られたエリアでは利用可能です。一方、コミュニティ FM は無線局免許が必要だそうですが、災害時の情報拠点としても期待されており、東日本大震災時のラジオ石巻のように地域住民の役に立っています。

もし今井で局を立ち上げられたら、曜日や週でパーソナリティを変えて得意な人が誰でも参加できる形にしたいです。あと、公民館ニュースや地区のイベント、道の駅・保育園・小学校の情報などもどんどん流してもらえたらいいかなと思います。また、町会の役員や民生委員の方も変わることが多いので、紹介もラジオで行えば、顔の見えない人同士でも、その人となりかわかっていいと思います。自己紹介で好きな今井の魅力や座右の銘を語ってもらうと、その人の個性が伝わって人と人の距離を縮めるきっかけになるんじゃないかと思いました。

さらに、新しくオープンした居酒屋さんとか、地区に存在するキッチンカーの情報などをインタビュー形式で地域のリスナーにどんどん流したら、面白くなるんじゃないかなって感じました。以上です。

【司会2】

はい。面白いですね。私も朝からラジオをよく聞きます。皆さんはどうでしょうか。ちょっと思ったんですが、小・中学校の放送室を活用した共同放送や、お祭り情報の共有なども考えられますね。Cさん、お願いします。

【妄想チーム：C】

地元のいろいろな方が出てきて自己紹介してくれるのは素敵です。私は移住者なので付き合いに幅がなく、顔と名前も覚えられないことがあるので、すごくいいなと思います。今井に嫁いで来られた方も、どんな方なのかわからないことがあるので、面白いなと思います。

もし FM ラジオができれば、今井の方言講座をやってもらいたいです。最初来た頃、優しく接してくれる近所のおばあちゃんと話していて、内容が半分くらいしかわからないことがありました。雑草の話で「ちょっとそこをこいで！」って言われて。「こいで」ってなんだろうって思いました。方言についていろいろと分かったら楽しいなって思います。あと、中学校の放送室とつながるなら、若者の主張みたいいろいろなアイデアとか妄想的なものを発表できるコーナーがあったら楽しいなって思います。

【司会2】

とてもいいと思います。若者の主張を聞きたいですね。運動会とかいろいろな行事に行って聞いてちゃってもいいですね。そこからジャックしてとか。どうでしょう。Aさん。

【妄想チーム：A】

私もすごいいいなと思って。私も夫婦そろってよそから来たので、最初は地名や施設の場所がわかりませんでした。小学校のマラソン大会のときに「学習公園」ってあったんですけどその場所が地図にもなければ住所も書いてなくて。また「改善センター」っていう言い方も独特だし、改善センター集合と言われてもどこっ？てなってしまう。地域特有の言葉とか、場所の名前を放送で説明してもらえたらいいなと思いました。

あと、若者の主張に乗っかると、今、卒業・入学シーズンですよ。おじいちゃん、おばあちゃんや両親、先生がお祝いや門出の言葉を送るコーナーなど、いろいろと幅広くできそうだなと思います。

【司会2】

とてもいいと思います。そうですね。ここは改善センターなんですけど、入口に公民館とも書いてあるし、改善センターともあるし、地域づくりセンターともあるし、どれなんだろうと思います。そういうのもいいですよ。

中学校の卒業式で、私、本当はおばさんチームでアンジェラ・アキの「手紙」を歌いたかったんですが、そんなことは言えなかったので、ラジオがあれば歌えますよね。

じゃあ、そろそろ時間かな。応答者の皆さん、どの札を上げるか、手のマークも持っていたらいい。シンキングタイム。お願いします。

<効果音>
<応答者：札上げ>

【司会2】

ついに黄色の札は出ませんでした。では、Lさん、お願いします。

【応答者：L】

堂村のLです。僕らが最後の世代だだと思いますが、昔は有線ってのがあって、これがものすごく有用でいろんな情報が得られました。僕は農業をやっているんで気象がものすごく重要で、特にこの時期だと遅霜の心配で、もし地区にラジオ局があったら情報を逐一入れてもらえるし、僕ら農家はラジオと共に生きているようなところがあるのでいいなと思いました。

【司会2】

有線には気象情報も入ってきましたか？

【応答者：L】

昔、確かに聞いたような気がします。「明日は霜が危険です」とか。

【司会2】

最近、畑を車が回ってきますね。「乾燥してます」とか。

【応答者：L】

あれは困りましたね。火が焚けなくなっちゃうんで。<笑い>

【司会2】

Fさんは、どうですか。

【応答者：F】

私は実はラジオが大好きで、今もいろいろな局を聴いていますが、実はコミュニティFMを作りたいなと思っていて。今じゃないですよ。昔です。<笑い>

“FMまつもと”ができる前から自分の中では構想してたんですね。結局、起業する勇気がなくてできなかつたんですが、コロナ禍とか3.11（東日本大震災）があつてから、重要なコミュニケーションツールだと言われていまして、もし実現できたらいいなと思いました。

【司会2】

ちなみに、Fさんはパーソナリティをしたかったのですか？

【応答者：F】

パーソナリティするほど全然しゃべれないので、そこは考えてなかったです。<笑い>

【司会2】

それでは市長、お願いします。

【応答者：市長】

電波が届く範囲はミニFMが数十メートル、コミュニティFMは約5kmぐらいかな。その中間くらいのものでできるのかどうか。技術的な課題はありますが、今、私の前職のNHKでもテレビからラジオへの回帰が進んでいます。今、ラジオといってもスマホで全部聴けますから、若い人にはいつでもどこでもという媒体です。

そして、もう一つ感じるのは、今本当に必要な情報ってワールドワイドか、ウルトラローカルか、この両極だなんて思うんですね。長野県というより私たちの立場で言えば松本市っていう範囲が一番適切になってくるし、今井の人たちにとってみれば、ウルトラローカルの今井の情報をきめ細かく発信ができる媒体、メディアがあつたら、これは少なくとも地区の人たちにとっては一番ウェルカム。これを実現する方法ってのが、もしかしたらこの今井にラジオ局を作ることかなと思いました。

実は今、“FMまつもと”を立て直そうと言っていて、街中に人が集まる拠点を作り、大学生など若手パーソナリティも育てていく。そういう方向をみんなで考えています。ですから実現可能性は技術的な問題をクリアできれば、あとは今井の人たちの情熱になるんじゃないかなと思います。以上です。

【司会2】

ありがとうございます。確かにワールドワイドかウルトラローカルってほんと大切だと思うんですけど、私こっちに来て驚いたのは、「市民タイムス」っていう小さな新聞が、みんな何よりも大好きで読んでいるっていうのが不思議で、これって地域密着だからだと思うので。ぜひラジオで地域のFM局ができるといいなと思います。

ということで、私たち6人の妄想を長々と皆さんに聞いていただきました。大丈夫ですか。お疲れになっていませんか。それではこれにて妄想会議を閉幕します。ありがと

うございました。

5 全体講評・感想

【総合司会：古池】

皆さま、大変お疲れさまでした。私は妄想会議を実際に見るのが初めてでしたが、今井の女性のパワーを強く感じました。市長いかがですか。今井地区の印象をお聞かせください。

【臥雲市長】

皆さんお疲れさまでした。本日は実現性という日々の縛りから離れ、ちょっと自由に発言をさせていただきました。ですので文字通り楽しく、農業の話もありましたけど、大変な話より楽しい話、ワクワクする話、そういうことを話していると、何かそこからヒントが出てくるなと思ってお話を聞いていました。そして何より6人の女性の皆さんのパワーを直に感じました。ぜひこの取組みを今井の皆さんが継続して進めていただきたいですし、私の立場からは他地区にも紹介してまいりたいと思います。

【総合司会：古池】

それでは、会場の皆様からも本日の会議の印象などお伺いしたいと思います。

【発言：見学者①】

今、いろいろお聴きして、会議の内容を全て実現してもらえたらいいんですが、なかなか大変だから何か一つできたらいいかと思います。個人的な妄想は、この地にあり余るリンゴの剪定枝を燃料にして、今井にリンゴのお風呂ができないかなと。枝を持ってきたらただで入れる、そういうお風呂が考えられないかなと思いました。＜笑い＞

【発言：見学者②】

本日は市長も参加され非常に有意義でした。そして、妄想は無責任で結構、責任も問わない、あるいはその妄想をもっと発展させようと大変素晴らしいテーマで取り組んでいただきました。特に、県外・市外からこちらに来られた方の新たな視点や、生活実態から生まれる妄想が多く、この取組みを高く評価します。またアンケートで応答者の反応も、ほとんどの人が受け入れていきたい、実現させたい、と希望のある言葉が態度として十分出ていて、今井捨てたものじゃないなとつくづく感じました。こういう機会をこれからももっともっと発展させられれば、非常にいいことじゃないかなと感じました。

6 閉会

【総合司会：古池】

最後に今井の魅力を改めて申し上げます。信州まつもと空港、松本山雅 FC のホームスタジアム・アルウィン、完成間近の長野県唯一の第一種公認陸上競技場、肥沃な土地、そしてこの地を熱く語る人材、これらは今井の大きな宝です。夢を語り、共有し、可視化して実現していく。この会議が末永く続くことを願って、本日の座談会「ミライ輝く夢語り」を閉会します。本日はありがとうございました。＜拍手＞